

学校司書に求められる専門的な知識・技能と学校司書のモデルカリキュラムの検討について(案)

資料1

【科目設定の方針】(1)学校司書の職務から求められる専門的な知識・技能を整理し、それらの知識・技能を習得できる科目の構成とする。
(2)それらの知識・技能には、既存科目の内容と重なる部分もあるため、大学等における開講の可能性や学生等の履修の可能性等も勘案し、既存科目を一部活用することとし、これらの科目では習得できない知識・技能については学校司書の独自の科目を設定する。

《論点①》どのような科目構成にするか。

《論点②》学校司書の独自の科目の内容をどう設定するか。

学校司書に求められる専門的な知識・技能

学校図書館の運営・管理・サービスに関する職務に携わるための知識・技能

- 学校における学校図書館の意義に関すること
- 情報や資料の種類や性質に関すること
- 図書館資料の選択・組織化及びコレクション形成・管理に関すること
- 情報機器やネットワーク、情報検索に関すること
- 児童生徒及び教職員に対する学校図書館サービスに関すること
- 学校図書館の施設・設備の管理に関すること
- 著作権や個人情報等の関係法令に関すること

児童生徒に対する教育支援に関する職務に携わるための知識・技能

- 児童生徒の発達に関すること
- 学校教育の意義や目標・学校経営方針に関すること
- 学習指導要領に基づく各教科等における教育内容等に関すること
- 学校図書館を利活用した授業における学習活動への支援に関すること
- 発達の段階に応じた読書活動の支援に関すること
- 校務や学校における諸活動に関すること

学校司書のモデルカリキュラムの科目構成

学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目

学校経営と学校図書館

図書館情報資源概論

学校図書館情報資源論

情報資源組織論

学校図書館情報組織論

情報資源組織演習

図書館情報技術論

学校図書館サービス論

児童サービス論

学校図書館情報サービス論

児童生徒に対する教育支援に関する科目

教育心理

教育原理

教育課程論

学習指導と学校図書館

読書と豊かな人間性

※網掛けの科目については、第2回の作業部会において必要である旨の議論がなされた科目
※破線の科目については、必要である旨の指摘があった科目